

情報をあつめよう

平時から災害時まで活用できます

横浜市避難ナビ

ハザードマップの確認やマイタイムラインの作成も簡単に行えるほか、災害時には、気象情報や避難情報などもプッシュ通知で確認できます。
※詳細は2Pで紹介しています



登録すると気象情報などが届きます

横浜市防災情報
Eメール



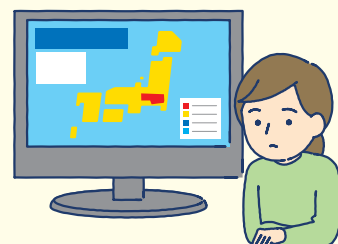
「Yahoo!防災速報」
アプリ



風水害時に気になることを調べることができます

危険が迫っているか知りたい

- キキクル(気象庁ホームページ)
気象情報や、洪水・土砂災害の危険度など



区役所からの情報が知りたい

- 泉区防災・災害ホームページ
泉区役所からの緊急情報や避難情報など
※避難する場合は確認してください。



地図を見て自宅の周りが安全か確認したい

- 泉区生活・防災マップ
- 浸水ハザードマップ
- 土砂災害ハザードマップ
(※泉区役所3階305窓口で配布中)



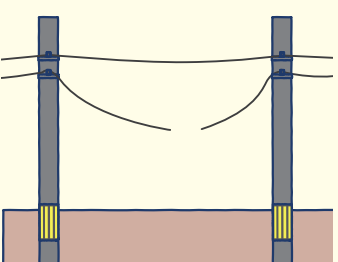
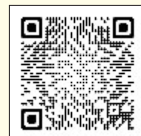
河川の水位を確認したい

- 横浜市水防災情報
泉区内の河川(和泉川、阿久和川、宇多川、境川)の水位情報など



停電情報を確認したい

- 東京電力パワーグリッドホームページ
各地域の停電情報など



※【電話で確認したい】0120-995-007
自動音声で停電情報と復旧見通しが案内されます。

特集

風水害に

そなえよう

台風や大雨の時は、時と場面によって状況が変わっていきます。
正しい情報を集めて、危険を感じた場合は落ち着いて避難行動がとれるように、
早め、早めに備えましょう。



避難情報発令時のとるべき行動と、 相当する防災気象情報について

防災気象情報	警戒レベル・避難情報	とるべき行動
大雨特別警報 氾濫発生情報等	5 緊急安全確保	【命の危険、直ちに安全確保!】 ●災害が発生・切迫しており命を守るための最善の行動をとる。
土砂災害警戒情報 氾濫危険情報等	4 避難指示	警戒レベル4までに必ず避難 【危険な場所から全員退避】 ●直ちに安全を確保できる場所に移動する。 ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する。
大雨警報 (土砂災害) 洪水警報 氾濫警戒情報等	3 高齢者等避難	【危険な場所から高齢者等は避難】 ●避難に時間を要する人(ご高齢の人、障害のある人、乳幼児など)とその支援者は安全な場所に避難を開始する。 ●その他の人は、避難の準備を整え、危険だと思ったら早めに避難する。
大雨注意報 洪水注意報等	2	【自らの避難行動の確認】 ●避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。 ●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。
早期注意情報 (警報級の可能性)	1	【災害への心構えを高める】 ●防災気象情報等の最新情報に注意する。

おちついて避難行動をとろう

泉区は、台風や大雨の時でも建物の中にいれば安全な地域が多いため、浸水想定区域外であれば自宅での安全確保を勧めています。まずは、自宅で台風や大雨が収まるまで過ごせるように、あらかじめ水や食べ物、停電に備えた防災用品などを用意することが大事です。

それでも、危険を感じた時は、早めに避難しましょう。

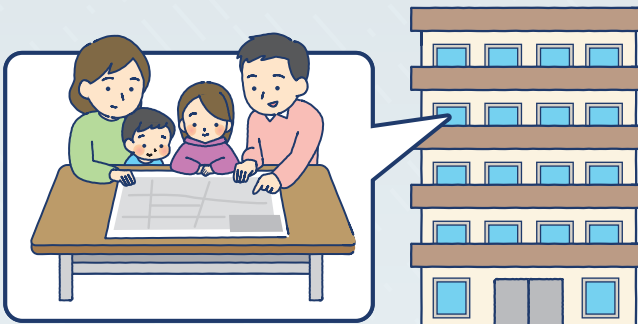
避難する場所は、安全な地域の親戚や知り合いのおうちが
過ごしやすくオススメずん。
詳しくはこちらの動画をチェックずん。

泉区防災研修動画(自助・風水害編) 検索



自宅で安全確保

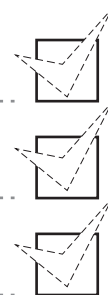
浸水想定区域内であっても、ハザードマップで3つの条件を確認し、すべてを満たせば自宅での安全確保が可能です。



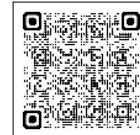
3つの条件

- 1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- 2 想定される浸水深より居室が高い
- 3 3日分程度の水・食料などの備えが十分

(災害時は水、食料、薬などの確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレなどが使用できなくなる恐れがあります。)



洪水
ハザード
マップで
確認



自宅で安全確保が難しい場合は…

行政が指定した 避難場所への 立退き避難

すぐに避難できるよう、日頃から避難用の持ち物を準備しましょう。



安全な 宿泊施設への 立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。



安全な親戚・ 知人宅への 立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

